

授業科目名	国語学入門(2100128)		
時間割名	国語学入門(12107)		
時間割担当	桑原祐子		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・2		

授業の目標・概要

大学で初めて学ぶ「国語学」の入門として、日本語はどのような言語なのか、日本語にはどのような特質があるのかということを知り、これまでの研究成果を土台として、日本語に関する基礎的な事項について、分野別に概説する。その課程で、音声言語・文章表現に関する知識、運用能力の習得を目指す。

学習の到達目標

- ・国語の教師になる上で必要となる日本語の基礎的知識を身につける。
- ・日本語に対する関心・感覚を高め、言葉を観察・分析する観点や考え方を獲得する。
- ・日本語による音声言語、及び文章表現の運用能力を高める。

授業方法・形式

- 1.それぞれのテーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、取り上げるテーマに関する受講生の意見を求める。
- 3.毎回所見カードの提出を求め、受講生の理解を確認する。

授業計画

- 第1回 国語学とは何か。日本語学とは何か。
言語学と日本語研究、日本語研究に基づく国語教育について学ぶ。
- 第2回 言語の特質と日本語
言語の特質と機能、言語の単位と研究分野について学ぶ。
- 第3回 日本語の音声 音声器官と調音部位、日本語の母音・子音の特徴、音節構造を学ぶ。
- 第4回 日本語の音韻 音韻とは何か、現代日本語の標準的な音韻とその構造を学ぶ。
- 第5回 日本語の語彙 語の意義と語の意味、日本的語彙、こそあど語彙、人称代名詞を学ぶ。
- 第6回 意義の世界 敬語の諸相、副詞の諸相（特に評価の副詞）を学ぶ。
- 第7回 日本語の文法1
学校文法について学ぶ。品詞分類と言葉の機能、自立語と付属語、用言の活用について学ぶ。
- 第8回 日本語の文法2
文の成分と文の構造、主語と述語、助詞・助動詞の機能、さまざまな文末表現を学ぶ。
- 第9回 日本語の文章1
文章の構造、段落、文の接続、文脈について学ぶ。
- 第10回 日本語の文章2
文章の種類、韻文と散文、文体について学び、実践的な文章表現活動を行う。
- 第11回 音声言語の世界
改まった表現とくだけた表現、男性語と女性語、共通語と方言を学び、実践的な言語活動を行う。
- 第12回 日本語の文字と表記
漢字・平仮名・片仮名・ローマ字の機能、補助符号の機能について学ぶ。
- 第13回 言葉の変化
日本語は、どのように大きく変化してきたのか、変化の要因は何かということを知る。
- 第14回 言葉の規範
変化する宿命を負った言葉の規範をどのように考えるのか、ということを知る。
- 第15回 授業の総括として、これまで学んだことを纏める。

成績評価の基準

定期試験（50％）において、総合的な理解の程度を確認する。所見カード（20％）、授業への参加度（30％）を加味して、総合的に評価を行う。

授業時間外の課題

- 1.テキストに示される課題について、予め調べて、疑問点を書き出しておくこと。
- 2.自身が使う身近な日本語の特色について、説明できるように準備しておくこと。
- 3.ことばについて、疑問に思うこと、不思議に思うことを常に書き出しておくこと。

メッセージ

日本語に関する事柄について、様々な情報を収集すること。
私語・飲食は禁止。携帯電話等の使用禁止。

教材・教科書

日野資成『ベーシック現代の日本語学』（ひつじ書房）

参考書

金田一京助 『日本語 新版』上・下（岩波書店）
国広哲弥 『日本語 誤用・慣用 小辞典』（講談社）